

安田貞雄 やまだ せいゆう 小説家。明治四十一年五月二十一日福岡縣生れ（一九〇八）。中央大學法學部卒。昭和十二年應召、中南支に轉戦して翌年歸還。この間南支軍報道部勤務、十七年比島派遣軍報道部員として従軍し、傍ら陸中新聞に南十字星を編輯。歸還後日本製鐵會社社員。戦後はビクター東京事務所勤務。

著書 『戦友日記』（昭和十六年七月七日）藝文社「歸還作家書」長篇小説純文學叢書（）、『天台山記』（昭和十七年二月）（同上）、『螢燈記』（第一部・昭和十八年四月五日、第二部・八月十八日）興商會出版部（）、『比島風土記』（他八名合著、昭和十八年十一月十五日）小山書店（）、『イナナノ海』（昭和十九年七月）（同上）新興出版社、文松堂書店（）、編著『赤と黒』（スタンダードル原作、昭和二十一年九月）（同上）金鈴社「世界名作物語」、再刊・二十五年八月二十日創入社「世界名作物語」等。

